

「ね、ねえミミ。本当にこのクエスト大丈夫？
私達にこんな水着させて…
大勢の前で…は、はしたないポーズさせるなんて…」

「大丈夫だよ、キョウカちゃん♡」



「お、ちゃんとお友達連れてきたんだなあ
ミニちゃん♥えらいえらい!」

「ひっ…! な、なんですか!?
どうしてそんな…お、おちん…ちん…」

「ダイジョウブだよ
キヨウカちゃん…
キヨウ、カ…チャ…」

「ミニミニ…? …?
一体どうしたの!」

「キヨウ…カ…アアア…」

「おっと時間切れか…」

「お、ちゃんとお友達連れてきたんだなあ
ミニちゃん♥えらいえらい!」

「ひっ…! な、なんですか!?
どうしてそんな…お、おちん…ちん…」

「ダイジョウブだよ
キヨウカちゃん…
キヨウ、カ…チャ…」

「ミニミニ…? …?
一体どうしたの!」

「キヨウ…カ…アアア…」

「おっと時間切れか…」

「ふふふ……フヤセ……」

「ぎゃあああああ!!
どうしたの、ミミい!!」

「ゴメンなあキヨウカちゃん
ミミちゃんはまだ人間やめちゃったんだよ♥
こいつは魔物を産んで増やすだけの
『シャドウ』っていうバケモノなのさ」



「マヤセ……ハランデ……マヤセ……」

「おうよ、任せておけちゃんと孕ませてやるからな…つと!!」

お♡

い♡

「んおっ♡オ…チンポ…♡♡」

「シミ!!目を覚まして!!シミからー!」

すぢゅ

すぢゅ

「バケモノの心配なんかより
自分の心配をした方が良くない？
キョウカちゃん♡」

「な、なにを…ひい!!
何ですかソレ! や、やめて!」

ドクッ

ぬふっ

♡

♡♡♡

♡♡♡

「これを使ってキョウカちゃんの魔力と一緒に
『心』も吸収するんだよ。そしてキミもお友達のように
シャドウになって魔物を産むバケモノになるのさ…」

「いや…そんな…いやああああ!!」

「ひう…ッ!!」

「ほおら…小さなふに穴に
すっかり入っちゃったねえ…
膣内で感じるだろ?」
自分が吸われていく感覚…」

ドクッ

ん…♡

ん♡

♡

「何…これ…え♡
こ…こんなの…ダメえ…
私が…ナカで…
吸われてる…のに…」

キューウウ
ウウ…♡

「怖い…のに…
気持ち…いい…♡♡♡」

「だいぶお腹大きくなつたなあ
そろそろキョウカちゃん自身を産んで
このカラダからバイバイしようか♥」

ドク

ん♡

ん♡

ドク

ドロ

ん♡

♡

「やだ…いやだよお…おっ♡
私、まだ皆と…冒険…
シたい…♡の…♡
お兄さん…助けてエ…♡♡」

「ん…：なかなかヒリ出さねえなあ…
ほおら、そーやって食いしばってねえで
気持ち良く声を上げちまえての！」



「ひゃらっ♡ひゃめひえっ♡
声♡でひゃ…っ♡」

んお♡

おん♡

おん♡

おん♡

んお♡

んお♡

んお♡

んお♡

んお♡

んお♡

んお♡

んお♡

んお♡

んお♡

んお♡

「おーいいぞ
ドンドン気持ちいい声
出してけえ!!」

「ああ♡ダメ♡もう我慢出来ない♡
私が消えて…♡三三みたい…♡
んっ…っ♡」

んおおおッ♡

ビクッ♡

アッ♡

ビクッ♡

おッ♡

アッ♡

アッ♡

「うほお！こりやでけえ！！
このガキ相当な魔力の持ち主だぜ」

クリッ

ポッ

ポッ

「おっ！出てきた出てきたアッ！」

「ああオッ！？ひやらっ♡
でひやめいえええ♡でりゅっ♡
でりやうううッ♡♡♡」

ビュッ

ハッ

「ああッ♥ダメッ♥
もう我慢出来ないッ♥
私が消えて…
バケモノになっちゃうッ♥♥」

ビクッ

おオッ♥

ビクッ

おオッ♥

「おまんこから…
『私』が…♥
出ていッ…私が…
消え…ちや…ッッ♥♥」

「お疲れさん。あとは自分が消える快楽を
たっぷり味わいな…」

「んおおおオオッッ♥♥」

ズン

ポト

ポト

ズン

ズン

「オ……♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

「ふう〜、ようやく出し切ったようだな……
徐々に身体の色が変わり始めちゃったねえ」

じゅわわわわわわ

ア……♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

ア……♡

♡♡♡♡♡

「ア……♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

「これからシャドウとして
たくさん魔物を産んでいこうな……♡」

ア……♡

♡♡♡♡♡

「ア……♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

ハラム……♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

「さあふたりとも
今日も楽しく子作りえつちしようなア」

「アア……フヤセ……ハラランデ……フヤセ……」

「アア……」

「フヤ……ミ……」

「ア……」

「ア……」

「おちんぽ欲しかったらとつとと
中の魔物産んどまえよ」

「『元キョウカ』ちゃん♥」

「アアア……マモ、ハラランデ、フヤス……」

くちゅ

くちゅ

トク・ハ

「アアア……チンポ……ハヤク……」

「おいおいお前は孕んでるだろうが」



BAD END















キョウカ

ね…ねえ、ミミ。本当にこのクエスト大丈夫なの？
やっぱりなんかおかしいよ。私達にこんなエッチな格好させて
大勢の大人の前で…は、はしたないポーズさせるなんて…



